

平成28年度 事業報告書

(公益認定を得た平成28年9月1日から期末平成29年3月31日まで)

1 概要

本財団の事業目的である「海洋化学に関する研究、助成及び奨励をなし、その発展を図ることを目的」として事業を行う。

昨年9月1日からは、公益認定を得て、京都府所管の公益財団法人となった。公益法人となったことで、多額の寄附を得ることができた。

そこで、この寄附を財源として、新たに、助成金事業の新設を行ない、同時に、既存事業の強化、及び、事務局の強化を図った。

2 (公1) 学術助成金の事業

海洋化学に関する研究、助成および奨励をなしその発展を図るため、その分野における研究者に学術助成金を支給する事業を行った。

助成金の種類は、以下の2種類である。

ア 海洋化学に関する研究者（大学院生以上の学生も含む。）向けの、研究助成金。以下、「研究助成金」と言います。

金額 1件100万円以下 年2件程度

イ 海洋化学に関する研究者（大学院生以上の学生も含む。）向けの、海外の大学、研究機関、学会、シンポジウム等への海外渡航費に関する助成金。以下、「海外渡航費に関する助成金」と言います。

金額 1件20万円以下 年数件

これに基づき、助成金への応募を、平成28年11月12日から平成29年1月31日まで、財団のホームページ、及び、本財団発行の研究所報「海洋化学研究」を用いて、呼びかけた。

同時に、本助成金の受領者などを定めるべく、選考委員会を立ち上げた。

選考委員会のメンバーは、以下の6名である。

平木敬三(近畿大学名誉教授)

左右田健次(京都大学名誉教授 兼 本財団評議員)

中西正己(京都大学名誉教授 兼 本財団評議員)

宗林由樹(京都大学教授 兼 本財団代表理事)

蒲生俊敬(東京大学教授)

加藤義久(東海大学名誉教授)

平成29年2月19日、選考委員会が開催され助成金の受領者の選考答申が行われ、この答申結果は、平成29年3月18日に開催された理事会にて承認された。助成金の受領者は、以下のとおりである。

ア 研究助成金（100万円を1名）

助成受領者 南知晴氏（京都大学）

研究テーマ 海水中生物活性微量元素9元素（アルミニウム、マンガン、鉄、コバルト、ニッケル、銅、亜鉛、カドミウム、鉛）の同時分析法を白鳳丸 KH-14-6 航海で採取された海水試料に適用し、南極海から南太平洋までの鉛直断面分布をあきらかにすること。

イ 海外渡航費に関する助成金（20万円を2名）

助成受領者 鄭臨潔氏（京都大学）及び辻阪誠氏（京都大学）

渡航先 両者ともに、8月パリで開催される Goldschmidt2017

3 （公2）学術講演会の事業

海洋化学に関する研究、助成及び奨励をなしその発展を図るために、その分野における第一人者を招き、京都府内において、広く一般人にも開かれた講演会を開催する事業である。

以下の2種類の講演会を実施した。

70周年秋季講演会

平成28年11月12日（土）午後1時30分～午後4時30分

京都大学楽友会館にて開催。演題・講演者は以下の通り。

講演「微量元素の高精度分析法の開発と海洋化学への応用」

京都大学化学研究所教授 宗林由樹

講演「生物地球化学過程の時空間変化が魅了する一湖と河川の化学」

京都大学人間・環境学研究科教授 杉山雅人

出席者 49名

なお、名城大学終身教授赤崎勇先生は体調不良のため講演中止



京都化学者クラブ講演会

化学という分野に着目した、市民向けの学術講演会。「化学者クラブ」という名称であっても、別に、「化学者クラブ」との団体があるわけではなく、主催団体は、本財団である。

年	月日	題目	講演者	所属	会場	出席者数
2016	9月3日	伝統技術に息づく日本人の感性、と科学	黒田孝二	京都工芸繊維大学伝統未来教育研究センターシニア・フェロー	京都大学楽友会館	11
2016	10月1日	傍から見た二次電池蓄電システムの進化	寺田信之	一般財団法人電力中央研究所材料科学研究所	京都大学楽友会館	10
2016	12月3日	下北沖海底下2500mまでの国際深海掘削プロジェクト-地下生命圏の実態解明に向けて	村山雅史	高知大学海洋コア総合研究センター教授	京都大学楽友会館	10
2017	2月4日	下水道とバイオ技術	橋本隆	NPO 法人下水道と水環境を考える会・水登	京都大学楽友会館	15
2017	3月4日	特許を取れなかった技術, 取らなかった技術	寺本巖	立命館大学OIC総合研究機構上席研究員・岡山県立大学名誉教授	京都大学楽友会館	12

4 (公3) 学術情報提供の事業

海洋化学に関する学術情報の流通を促すことで、海洋化学に関する研究、助成及び奨励をなし、その発達を図るべく、学術研究誌出版事業としての「海洋化学研究」の発行、及び、本財団のホームページ運営を行った。

海洋化学研究（第29巻2号）を2016年11月12日に発行。主要な内容は、以下のとおりである。

種類	タイトル	著者
巻頭言	情報化社会の中で	向井浩
月例卓話 308	金碧の真実 光琳の紅白梅図	野口康

月例卓話 309	振動分光法で見る溶液—不凍液の化学構造解析—	下赤卓史
月例卓話 313	数理と人工知能技術によるゲノム情報と化学情報のコンピュータ解析	阿久津達也
RIOC だより	公益財団化のお知らせ	
	公益財団法人海洋化学研究所 70 周年秋季講演会	
	京都化学者クラブ例会:最近の実績と今後の予定	
	賛助法人・団体会員名簿	
	投稿案内	
	平成 29 年度伊藤記念学術助成公募	

本財団のホームページ運営事業においては、「海洋化学研究」の掲載論文をホームページからも見られるようにし、また、財団からのお知らせ（助成金・講演会・出版等）を行った。

URLは、<http://www.oceanochemistry.org/>

5 事務局体制

常勤職員の雇用を検討したが、結果として、採用に至らず、週 2 日のアルバイト採用に留まった。

以上